

## ★カリキュラム・ポリシー

### 【人間社会科学研究科】

研究科のディプロマ・ポリシー 1に「各領域の専門的知識・専門的技能と幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる」、2に「人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、専門的な方法で分析することができる」と定めていることを踏まえ、各学生が「専門性を深める」科目区分、および「学際的な視点を持つ」ための科目区分を設けるとともに、3に「地域および現代社会における諸問題について、多様な人々と協働して問題解決にあたることができる」と定めていることを踏まえ、「応用・実践力を身につける」ための科目区分を設ける。

#### 学際的な視点を持つ

**研究科共通科目** 地域や現代社会の諸問題を、学際的に、〈人間〉というミクロな視点と〈社会〉というマクロな視点の両面からとらえる力を身につけさせるため、また、それらの問題を質的および量的側面から分析する視点を身につけさせるために、「研究科共通科目」を設ける。この科目区分を研究科全学生がともに学ぶことを通じて、ディプロマ・ポリシー 1に挙げた「幅広い学際的知見」・「人間と社会に関する問題を深く理解」、ディプロマ・ポリシー 2に挙げた「分析・解決方法」、ディプロマ・ポリシー 3に挙げた「多様な人々との協働」の修得を図るものである。

#### 専門性を深める

**基盤科目・専門科目** 学際的な視点を身につけながら、各領域の専門的知識・学術的理論・研究方法・専門的技能を身につけさせるために、社会創成専攻の各コースに「コース基盤科目」・「コース専門科目」、臨床心理学専攻に「専攻基盤科目」・「専攻専門科目」を設ける。

「コース基盤科目」・「専攻基盤科目」は社会創成専攻の各コースおよび臨床心理学専攻の学問領域に関して、各専門領域を俯瞰し、各コースの目指す理念目的を理解し、基本的な意欲・態度を身につけることを目標としており、この科目区分を学ぶことを通じて、ディプロマ・ポリシーに挙げた「専門的知識・理論・研究法の基礎」と専攻・コースの学問範囲における「学際的理解」、ディプロマ・ポリシー 2に挙げた「分析・解決方法」の修得を図るものである。

また、社会創成専攻の各コースに「コース専門科目」、臨床心理学専攻に「専攻専門科目」を設けている。この科目区分は、各専門領域の理論・研究方法・実践能力を身につけ、その専門性という強みをもって社会で活躍できることを目標としており、この科目区分を学ぶことを通じて、ディプロマ・ポリシー 1に挙げた「専門的知識・理論・研究法」や「人間と社会に関する問題を深く理解」、ディプロマ・ポリシー 2に挙げた「独自の課題設定」「情報収集・分析・解決方法」、ディプロマ・ポリシー 3に挙げた「多様な人々に対する的確な表現」の修得を図るものである。

**研究指導科目・修士論文** 研究指導科目および修士論文は、身につけた知識を生かし、自ら設定した課題と専門的にとりくみ、成果を修士論文としてまとめていくことを目標としており、この科目区分を学ぶことを通じて、ディプロマ・ポリシー 1に挙げた「専門的知識・理論・研究法」・「人間と社会に関する問題を深く理解」、ディプロマ・ポリシー 2に挙げた「独自の課題設定」・「情報収集・分析・解決方法」、ディプロマ・ポリシー 3に挙げた「応用・実践的な問題解決」・「多様な人々に対する的確な表現」の修得を図るものである。

## 応用・実践力を身につける（「社会実践科目」）

社会的なニーズに対応し、普遍的なスキル・リテラシーを学ぶことにより、高度の汎用的実践能力を養い、多様な人々による共生社会の創成に向けて、社会人としての応用可能な能力を学術的な立場から身につけるために「社会実践科目」を設ける。この科目区分を学ぶことを通じて、ディプロマ・ポリシー3に挙げた「多様な人々との協働」・「応用・実践的な問題解決」の修得を図る。

### 【社会創成専攻】

**研究科共通科目** 本研究科の目指す理念目的を理解し、基本的な意欲・態度を身につけるために、研究科共通の必修科目として「人間社会科学特論」を設ける。

**コース基盤科目** 社会創成専攻の各コースの目指す理念目的を理解し、基本的な意欲・態度を身につけるために、各コースにおいてコース内共通のコース基盤科目を必修科目として設ける。

**コース専門科目** 各コースにコース専門科目を設け、各専門領域の理論・研究方法・実践能力を身につけられるようにする。

**コース間連携科目** ミクロな視点（人間）とマクロな視点（社会）の両面から地域社会およびそこに生活する人間を捉える力、量的な分析によるアプローチと質的な分析によるアプローチの両面から人間と社会を捉える力といった学際的に多様な視点をとる力を身につけるため、「コース間連携科目」を設ける。この科目区分を学ぶことを通じて、ディプロマ・ポリシー1に挙げた「幅広い学際的知見」・「人間と社会に関する問題を深く理解」、ディプロマ・ポリシー3に挙げた「多様な人々との協働」・「応用・実践的な問題解決」・「多様な人々に対する的確な表現」の修得を図る。

**展開科目** 自身の専門領域だけではなく、それと関連づけながらもより幅広い知識や視点を自分の関心に応じてどのように展開していくかを指導教員と相談しながら自律的に決定し、身につけていくために、社会創成専攻コース専門科目・コース基盤科目、社会実践科目、大学院共通科目の中から選択できる展開科目を設ける。この科目区分を学ぶことを通じて、ディプロマ・ポリシー1に挙げた「幅広い学際的知見」・「人間と社会に関する問題を深く理解」の修得を図る。

**研究指導科目** 身につけた知識を生かし、自ら設定した課題と専門的にとりくみ、成果を修士論文としてまとめていくために、研究指導科目を設ける。

**社会実践科目** 普遍的なスキル・リテラシーを学ぶことにより、高度の汎用的実践能力を養い、社会人としての応用可能な能力を学術的な立場から身につける社会実践科目を設ける。

### 【臨床心理学専攻】

臨床心理学専攻では、地域の関係機関の専門家と協働して活躍できる、臨床心理学の高度な専門性と実践力を身につける。また、個々の臨床心理実践を通して臨床の知を創造する研究を計画・実施できる能力を身につける。

**研究科共通科目** 本研究科の目指す理念目的を理解し、基本的な意欲・態度を身につけるために、研究科共通の必修科目として「人間社会科学特論」を設ける。

**専攻基盤科目** 本専攻の目指す理念目的を理解し、基本的な意欲・態度を身につけるために、専攻共通の必修科目として設ける。

**専攻専門科目** 専攻専門科目に「臨床心理学の理論と実践科目群」「臨床心理地域援助の理論と実践科目群」の2つの科目群を設ける。両科目群において、各科目を基礎から応用へ段階的に配当する。さらに、理論と実践の往還の中で学びを深めるために、両科目群で実習科目を設ける。「臨床心理学の理

論と実践科目群」においては、活動領域・活動地域を超えて汎用性を持つ臨床心理学の理論を学び、臨床心理査定能力、臨床心理面接能力、および研究遂行能力を身につける科目を設ける。「臨床心理地域援助の理論と実践科目群」においては、医療、福祉、教育、司法、産業領域の各領域における臨床心理査定、臨床心理面接の実際について学ぶ科目を設ける。また、山陰地域を中心に臨床心理地域援助の実際について重点を置いた教育を行うため、「臨床心理地域実践実習（心理実践実習）」を必修の実習科目として設ける。

**研究指導科目** 身につけた知識を生かし、自ら設定した課題と専門的にとりくみ、成果を修士論文としてまとめていくために、研究指導科目を設ける。

**社会実践科目** 普遍的なスキル・リテラシーを学ぶことにより、高度の汎用的実践能力を養い、社会人としての応用可能な能力を学術的な立場から身につける社会実践科目を設ける。